



上手な野菜の育て方

ミズナ



1 栽培時期と品種



2 栽培上の注意点

- ①乾燥に弱いので、水やりは十分に行う。(敷わら・マルチを利用して水分保持に注意する)
- ②小株で収穫する場合は、葉が固くならないよう20cm程度で収穫する。
- ③雪が下りる場合は、寒冷紗をかけて凍害を防ぐ。

参考

乾燥した牛糞堆肥を株元に置き、マルチの代わりにする。
(↑雨が降ると肥料の効果が現れ、雑草も引きやすい)

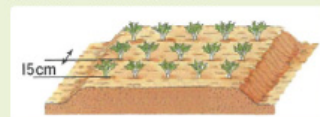


4 種まき

●小株採り(サラダ用)

条間15cmで蒔き溝をつけ、
1~2cm間隔ですじまきにする。

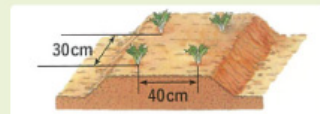
小株採りの場合/すじまき



●大株採り(鍋物、漬物用)

株間30~40cmで1箇所
に3~4粒点まきにする。

大株採りの場合/点まき



3 畝づくり・本田肥料

種まき10日前に、3.3㎡(1坪)当たり完熟堆肥6kg、苦土セルカ300g、あさひ野菜専用化成 300gを全面に施してから耕うんし、畝幅150cmに整地する。
追肥は生育状況に合せ、あさひ野菜専用化成70gを施す。

5 間引き

●小株採り

本葉2~3枚の頃、奇形になった株や病害虫で傷んだ株を中心に生育の悪い株を取り除き、3~5cm間隔にする。

●大株採り

本葉2~3枚の頃、2株を残して間引き、草丈7~8cmで1株に間引く。

6 病虫害防除

主にアブラムシの発生がある。

アディオン乳剤
3000倍溶液(水3ℓに薬1ml)

使用期限—収穫前日まで
使用回数—3回以内

参考

ミズナはアブラナ科で連作障害が出やすい作物なので、以前、ミズナ・大根・キャベツ・白菜・ブロッコリー等を作った土を使う場合、1~2年あける方が良い。

